

広報

あしや

第15回記念芦屋サマーカーニバル



素敵な出逢い

ビューティフル &

パワフルコミュニケーション

芦屋サマーカーニバルは、市民のまつりとして、すっかり定着してきました。本年は第15回記念にあたり、芦屋市民まつり協議会の主催のもと、「素敵な出逢い ビューティフル&パワフルコミュニケーション」をテーマに、多彩な催しが展開されます。

問い合わせ

芦屋市民まつり協議会(☎22-6946)

梅雨の合間をぬって太陽が照りつきます。いよいよ灼熱の夏がやってきます。そして、恒例の「芦屋サマーカーニバル」が、七月三十日(金)から八月一日(日)まで開かれます。今年、海の上では第一回アシヤカップ・ドラゴンボートレース大会が、潮見中学校では縁日をはじめ浴衣コンテストやビンゴゲームなどさまざまな楽しいイベントが、そして夜にはカーニバルの最終を飾る「スターメイン」・「雷鳴の轟き」・「炎の競演」・「蝶の舞」など色とりどりの花火が、千六百発以上打ち上げ

1993年 7月15日号
(平成5年)

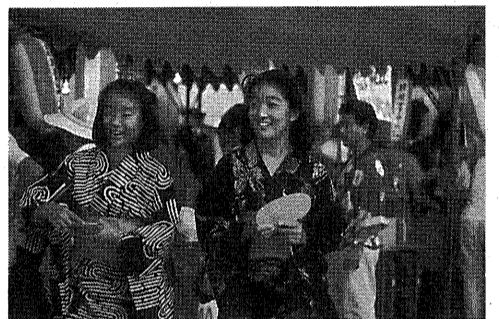
No.639

毎月1日・15日発行

発行 芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号



プログラム

◇7月30日(金)・31日(土)

会場 JR芦屋駅北側周辺

催し プレサマー

縁日

吹奏楽

◇8月1日(日)

会場 潮見中学校グラウンド

催し (16:00) 縁日オープン

(17:00) キャラクターショー

浴衣コンテスト

アマチュアバンド

BIGビンゴゲーム

・1等 ハワイ旅行

・2等 香港旅行
など

“鬼瓦”太鼓演奏

(20:00) 花火大会

打ち上げ花火

スターメインほか

1,600発以上

〔第1回ASHIYA CUP

ドラゴンボートレース〕

会場 芦屋川河口周辺

時間 9時～17時30分

花火の打ち上げは8月1日

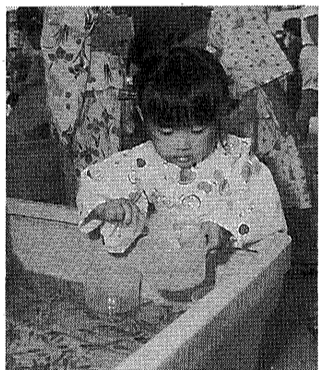
午後8時～潮見中学校沖海上

芦屋川沖ドラゴンボートコースでは、第一回アシヤカップドラゴンボートレースが八月一日(日)午前九時から開催されます。各地区や団体からの出場者は、一艇二十五人乗のボートで、芦屋川沖から河口に向かって、全長約四百mのコースを大太鼓のリズムにあわせて、全員が力いっぱい、一気に漕ぎ進むレースは、勇壮そのものです。パワフルなレースが展開されますので、ぜひごらんください。なお、七月三十一日(土)午後一時から五時三十分まで、同会場練習会が開かれます。

第1回ASHIYA CUP ドラゴンボートレース

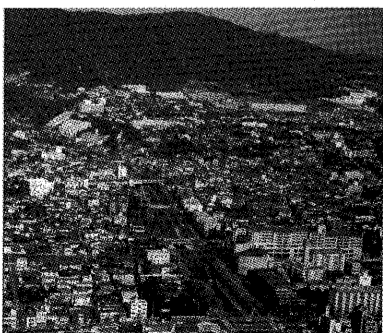


られ、迫力の六十分間を楽しんでいただけます。みなさま浴衣姿などで、ご家族おそろいでお越しください。梅雨の合間をぬって太陽が照りつきます。いよいよ灼熱の夏がやってきます。そして、恒例の「芦屋サマーカーニバル」が、七月三十日(金)から八月一日(日)まで開かれます。今年、海の上では第一回アシヤカップ・ドラゴンボートレース大会が、潮見中学校では縁日をはじめ浴衣コンテストやビンゴゲームなどさまざまな楽しいイベントが、そして夜にはカーニバルの最終を飾る「スターメイン」・「雷鳴の轟き」・「炎の競演」・「蝶の舞」など色とりどりの花火が、千六百発以上打ち上げ



市民みんなの祭りです。みんなでマナーを守りましょう。まつり会場および周辺には駐車場がありません。周辺道路はすべて駐車禁止区域です。車でのご来場はご遠慮いただき、バスまたは徒歩でご来場ください。また、焼きそば、おでん、ジュースなど約八十店が出店しますが、最低限のマナーとしてゴミや空き缶のばい捨てはやめましょう。

誇りと愛着を感じるまちづくり



市民の皆さまにまちづくりのご理解を深めていただくため、先月号に続き、地域地区のうち、用途地域および風致地区について概要を説明します。

●地域地区

土地の利用に計画性を与え、適正な制限のもとに土地の合理的な利用を図るため、用途地域や風致地区など、細かく地域地区を定めています。

■用途地域

都市には、戸建住宅、マンション、事務所、

学校、商店、百貨店や集会所などいろいろな建物があります。

これらの建物が無秩序に混在すると、それぞれの機能が十分発揮できないばかりでなく、生活環境の悪化を招くことになります。

このため、それぞれの地域にふさわしい建物の用途と形態を規制、誘導するものです。

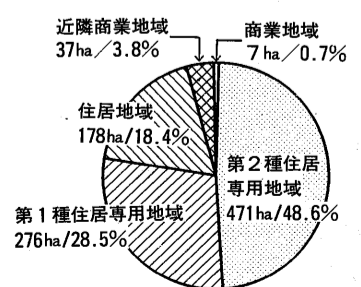
■風致地区

生活にうるおいを与え、緑ゆたかな住環境を作り出す、良好な自然景観を維持するために指定します。

このように、まちづくりのためにさまざまなことを都市計画で定めています。

〔芦屋市の用途地域〕

市の特性として国際文化住宅都市にふさわしく住居系の用途地域を定めています。



問い合わせ 都市計画課 (☎38-2073)

男女共同参画型社会の実現を目指して

― 女性施策推進懇話会からの提言 ―

わが国では、長い間社会のしくみとして女性には家庭を守り、子どもを育てる生き方が当然のことと考えられてきました。

反面、男性は外で働き家族を養うのが役割で、それに疑問を持つことは考えられませんでした。果たして、このようなスタイルで社会が形成されていくことは望ましいのでしょうか。

女性が社会で活躍する多くの条件は整っており、社会的な要請も明らかになっていっています。従来の枠組みを破る価値観を育てていくのがこれからの課題と言えるでしょう。

本市では、今後の女性施策のありかたについてご検討いただくため、平成四年六月、芦屋市女性施策推進懇話会を設置しました。

会議は全体会の他に就労・保健・福祉部会、市民活動・学習・意識づくり部会の両部会を設置し、昨年実施した市民意識調査の結果も踏まえて計十四回の会議で検討いただき、このたび多くの提言をいたしました。今回は、提言の概要を紹介いたします。

問い合わせは、市長室女性施策担当(☎2007)へ。

「国際婦人年」と、それに続く「国連婦人の十年」(※1)以来、女性をめぐる状況は大きく変わってきました。

男女の就業年数の差は年々縮まり、職場に進出する女性の数も大幅に増加しました。(表①)女性の社会進出の責任ある役割への登用や、公的な場での発言の機会も増えつつあります。

総理府の統計によれば、男女の固

互いの性を尊重する社会を
意識改革の推進

定的役割分担(男は仕事、女は家庭)に対する意識は、調査のたびに否定する回答が増えています。(図①)しかし、実情はどうでしょうか。

家庭をはじめ、地域や職場などで「女性だから」という理由によって一定の役割を当然のように分担させている状況があるはずで、長い間に培われてきた習慣は、無意識のうちに言動に表れてしまっています。

女性が女性であるために不利益を被らず、互いの性を尊重する社会を目指す方向に向かっていきたいと思います。

しかし、企業内の雇用管理をみると、まだまだ単純で補助的な業務に限られており、意欲と能力のある女性労働者が力を発揮する環境が必ずしも整っているとはいえない状況です。その背景には結婚や出産を機会に退職する慣行が依然として残っています。

平成四年四月に育児休業法(※4)が施行されて、男女のどちらが休暇をとってもよい制度ができました。従来の「子育て＝女性」といった図式は制度的にはくずれました。

しかし、この制度は周囲の理解の喚起や、企業等が男女の性別にとらわれないことなく平等に能力を發揮できるようにする必要があります。



就労のための条件整備

女性の就業意識は、能力の發揮を望む方向に向かっていっています。

女性自身の選択は、子育て後の再就職を希望する割合が高い一面もついています。これがM字型就業形態といわれるわが国独特の現象を生み出しています。

このような形態は、女性の働き方としてさまざまな問題があるものの、現状からみて再就職のための職業能力開発や、適応能力の醸成に努める必要があります。

また、高齢化時代にあつて、高齢者の介護は大きな問題です。男女を問わず、介護に携わりながら、働き続けるための介護休業制度の整備なども早急に求められるものです。

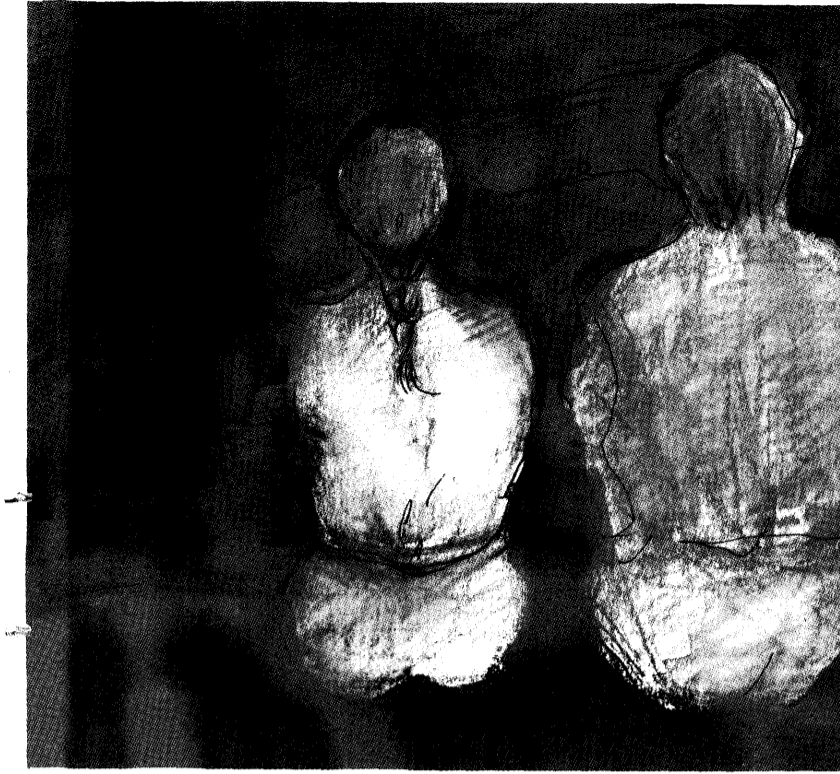
等に参画する社会(※2)、両性に備わった特性を認め合う社会の実現のために、女性の参画を困難にしている状況を解消し、意識改革に向けて、さまざまな施策の実現が望まれます。

政策・方針決定への参画を

本市で委員会などの政策決定に参画する女性は十八・八%です。

国の行動計画「西暦二〇〇〇年に向けての新しい行動計画」(第一次改定)(※3)で目標としている登録数字は、平成七年までにおおよそ十五%としています。

本市ではこれを上回っていますが、地域社会をバランスのある社会にするためには、まだまだ十分とはいえません。日常活動に積極的に参加する意欲ある女性の抜てきなど、幅広い人材の確保に努めることが望まれます。



女性性は八〇%を超えています。健康や経済面での不安は女性に高く、また、配偶者や障害をもつ家族を介護するの圧力的に女性であるという現状です。

すなわち、女性性は介護をしなければならなくなったときの問題と、高齢期に入つて十分な介護を受けられるかという問題とを持っています。

従来、女性が担ってきた介護の役割は、今後社会全体で担っていくことが必要ではないでしょうか。

高齢期には、生きがいのある生活を送りたいのですが、「生きがいとは何か」は一人ひとり異なったものがあるはずで、さまざまなニーズに対応できる相談窓口や、事業の開発を進めていく必要があります。

就労のための条件整備

女性の就業意識は、能力の發揮を望む方向に向かっていっています。

女性自身の選択は、子育て後の再就職を希望する割合が高い一面もついています。これがM字型就業形態といわれるわが国独特の現象を生み出しています。

このような形態は、女性の働き方としてさまざまな問題があるものの、現状からみて再就職のための職業能力開発や、適応能力の醸成に努める必要があります。

また、高齢化時代にあつて、高齢者の介護は大きな問題です。男女を問わず、介護に携わりながら、働き続けるための介護休業制度の整備なども早急に求められるものです。

生涯を通して健康に

育児環境

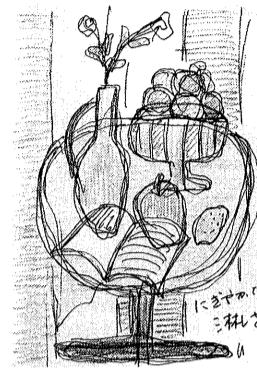
女性の就労は保育のありかたと密接につながっています。

労働基準法の改正により、変形労働時間の導入や、管理職・専門職女性に対する深夜業の禁止も撤廃になり、女性の働きかたは多様になりました。これに伴い、保育サービスのありかたなどの検討が求められます。

育児に関しては、核家族化などから子育ての不安なども生じていますが、育児経験者から育児のノウハウを伝える事業や育児ネットワーク事業の展開も必要と考えます。

母性保護

母性は、次世代に生命を受け継ぐ社会的に重要な機能であり、社会が保護するという認識をもたなければなりません。



「男は仕事、女は家庭」という考え方について (単位：%)

女性性は八〇%を超えています。健康や経済面での不安は女性に高く、また、配偶者や障害をもつ家族を介護するの圧力的に女性であるという現状です。

すなわち、女性性は介護をしなければならなくなったときの問題と、高齢期に入つて十分な介護を受けられるかという問題とを持っています。

従来、女性が担ってきた介護の役割は、今後社会全体で担っていくことが必要ではないでしょうか。

高齢期には、生きがいのある生活を送りたいのですが、「生きがいとは何か」は一人ひとり異なったものがあるはずで、さまざまなニーズに対応できる相談窓口や、事業の開発を進めていく必要があります。

用語の解説

※1 ①あらゆる分野への女性の参画、実際の男女平等の促進、女性の潜在能力の活用を目標に国連は1975(昭和50)年を国際婦人年と決定。同年メキシコで「平等・発展・平和」をテーマに国際婦人年世界会議が開かれ、76年から10年間を「国連婦人の10年」と定めた。

※2 「参加」とは単に加われば足りると受け止められやすく「参画」には、企画立案の段階から参加し、責任も共有するという、真の対等性の意味が込められている。

※3 1987(昭和62)年5月に婦人問題企画推進本部が策定した「新しい行動計画」が改定された。計画は国連採択の「婦人の地位向上のためのナイロビ将来戦略」の国内施策への取り入れであり、2000年までの間、長期的展望にたつて政府が推進するべき婦人関係施策の基本方向を明らかにしたものである。

※4 出産後、職場での身分や地位を保障したまま一定期間休業できる制度。休業期間は、出産から1年間。

ごあんない

募集

毎月勤労統計調査特別調査にご協力を

労働省では、「平成5年毎月勤労統計調査特別調査」を7月31日現在で実施します。この調査は一定規模の事業所を対象に、雇用・給与および労働時間等を明らかにするために行われます。

7月下旬に調査員がお伺いしますので調査にご協力をお願いします。

問い合わせは、総務部総務課文書統計係(☎38-2010)へ。

「働くすがた」展作品募集

「働くすがた」をテーマとした作品を募集します。

- 対象…市内在住、在学の小学生
- 規格…四ツ切り画用紙・模造紙大(共同作品のみ)、立体作品は受け付けません
- 用具…クレヨン、クレパス、水彩絵具など
- 出品点数…1人1点(未発表作品に限る)
- 展示期間…11月19日(金)～25日(木)
- 展示会場…市民センター常設展場
- 申し込み…作品の裏に学校名・学年・組・名前・住所を記入し、10月29日(金)までに経済課(☎38-2033)へ。応募者には記念品を贈呈

お知らせ

モンテペロ学生との交流会

- 日時…7月23日(金) 8時45分～16時
- 行き先…青少年野外活動センター
- 集合場所…阪急芦屋川駅北側花時計前
- 内容…オリエンテーリング、バーベキューほか
- 費用…バス代(約500円)自己負担
- 対象…高校生、大学生●申し込み…7月20日まで国際交流協会(☎34-6340)

夏の療育キャンプ

- 日時…8月28日(土)～29日(日)
- 行き先…浜坂温泉保養荘(美方郡)
- 対象…療育手帳所持者(児)とその家族●申し込み…7月26日(月)までに福祉課障害福祉係(☎38-2043)へ

老人健康相談

- 日時…7月22日(木) 14時～16時
- 会場…福祉会館
- 内容…専門医師による相談・助言
- 問い合わせ…社会福祉協議会(☎32-7530)

第9回高齢者「会食懇談会」

- 日時…7月29日(木) 12時～
- 会場…老人福祉会館
- 対象…市内在住70歳以上のかた
- 会費…500円●定員…50人(先着順)
- 内容…会食をしながら懇談とアトラクション●申し込み…社会福祉協議会(☎32-7530)

泉通院患者リハビリテーション 事業へご協力を

この制度は回復途上にある精神障害者が一定期間協力事業所(職職)に通り、種々の訓練を受けることによって、病気の再発防止と社会的自立を促進させるためのもので、協力奨励金制度があります。事業主の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

性別役割分担意識

性別役割分担意識とは「男は仕事」「女は家庭」という性別による役割が、個人の能力に関係なく意識的、無意識的に振り分けられていることをいいます。

この度、国(総務庁)が中学、高校生を対象に行った意識調査では、男子は中学生四八%、高校生五六%、女子は中学生六九%、高校生七九%が性別役割分担意識について肯定的に考えており、女性の社会進出が進んでいることを反映した結果が出ているように思われます。

一方、労働省が行った「女性雇用管理基本調査」(平成4年度)によりますと、就労の場において、退職に関する慣行は、社内結婚による四七%、社外結婚による四八・六%、出産による四八・二%であり、いずれも五割近くが慣行として女性の退職を余儀なくしています。

このことを考えますと、個人的な意識として役割分担を否定しても社会の仕組みがまだまだ性別による分担意識を根強く持っており、家庭と社会のすみ分けの解消には社会全体が意識的に取り組まなくてはならないといえるでしょう。

日本女性会議 '93ふくおか
～風は西からいま、行動のとき～

10月28日(木)～29日(金)ノ福岡サンパレスホール

分科会 ●①地球にやさしくしま省(環境)②すてきに動きま省(労働)③豊かに暮らしま省(教育・福祉・地域文化)④グローバルに考えま省(国際交流)

― 実践事例報告者募集 ―

応募方法 ●上記①～④から一つを選び実践していることを1000字以内(にまとめて)郵送(活動の資料等あれば同封)

募集期間 ●8月5日(必着)まで

その他 ●交通・宿泊費は事務局負担

募 募 ●福岡市女性企画課内日本女性会議実行委員会事務局(〒810 福岡市中央区天神1-8-1 ☎092-711-4107)

― 参加者募集 ―

募集期間 ●7月30日まで

参加費 ●2000円、交歓会(10月28日 17:30～20:00)も参加する場合6000円

交通・宿泊費は自己負担

申し込み ●市長室女性施策担当(精道町7-6 ☎38-2007)

*市でまとめて、実行委員会事務局へ申し込みます

第8回芦屋市民絵画展 (作品募集)

会期 9月4日(土)▶12日(日)

会場 市民センターロビーA

●作品搬入 8月29日(日)・30日(月) 10:00～16:00

市民センター文化事業係 市内在住・在勤 在学(高校生以上)の人

●対 象 絵画一般(日本画・洋画) 50号以内(116.7×90.9cm) 額装、つりひもをつける

●募集作品 500円(1人2点まで)

●出品料

問い合わせ 公民館文化事業係(☎31-4995)

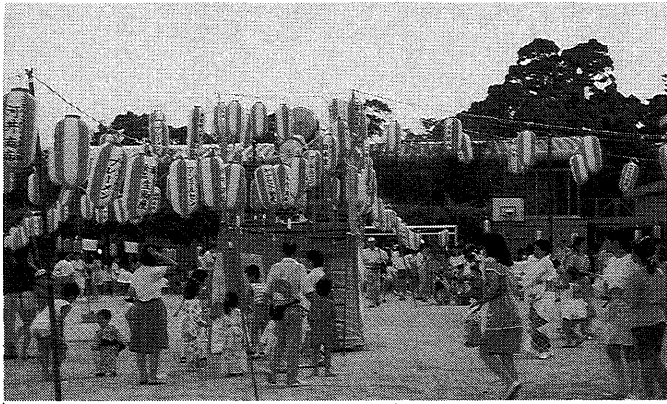
こちら消費生活センターです
経済課内 ☎38-2034

消費生活センターでは、市民のかたがために、消費生活に関する知識を高めていただくために、消費者教室を実施しています。契約に関する基礎知識や、悪質商法についてなど、参加者との情報交換を交えながら話をすすめます。自主学習グループや、育友会、老人会の集まりなどにご利用ください。



教育のページ

このページのお問い合わせは市教委学校教育課(☎382087)へ。



コミスク夏の行事

- 三條コミスク
 - 〔夏祭り〕夏の夜の集い 7月24日 18:30~20:00校庭(雨天7月25日)
 - 〔プール〕7月21~31日 10:00~12:00 13:00~15:00
- 朝日ヶ丘コミスク
 - 〔夏祭り〕8月22日 15:00~21:00 校庭(雨天校舎内)
 - 〔プール〕7月27日~8月2日 13:00~14:30(土日除く) 市民プール
 - 〔その他〕ふれあい野外活動(芦屋浜クリーン作戦) 7月18日 9:30~14:30(雨天校舎内)
- 潮見コミスク
 - 〔夏祭り〕7月24日 15:00~21:00 芦屋浜中央芝生公園(雨天決行)
 - 〔プール〕8月2~4日 13:00~16:00
 - 〔その他〕ラジオ体操 7月21~31日 6:30~7:00 校庭
 - 星空映画会 8月28日 19:00~20:30 校庭(雨天29日)
- 宮川コミスク
 - 〔夏祭り〕8月7・8日 19:00~21:00 校庭(小雨決行)
 - 〔プール〕8月2~4日 10:00~12:00
- 打出浜コミスク
 - 〔夏祭り〕盆踊り大会 8月16~17日 18:00~21:00(雨天中止)
 - 〔プール〕7月26~30日 10:00~12:00
- 浜風コミスク
 - 〔夏祭り〕7月24日 15:00~21:00 芦屋浜中央芝生公園(雨天決行)
 - 〔プール〕7月27~28日 10:00~12:00・13:00~15:00
 - 〔その他〕ラジオ体操 7月21日~31日 6:30~、校庭
- 岩園コミスク
 - 〔夏祭り〕盆踊り大会 8月29日 17:30~20:30 校庭
 - 〔プール〕7月22~24日 低学年 13:00~14:30 高学年 14:30~16:00
 - 7月25日 9:00~12:00・13:00~16:00
 - 7月26~28日 9:00~12:00・13:00~14:30
 - 〔その他〕ラジオ体操 8月23~27日 7:00~校庭その他
- 精道コミスク
 - 〔夏祭り〕7月24日 16:30~21:00 1部模擬店、2部星空映画会 校庭(雨天校舎内)
 - 〔プール〕7月21~27日(24、25日を除く) 13:00~15:00
- 山手コミスク
 - 〔夏祭り〕夏の夜のつどい 7月24日 16:00~20:00(山中青健たそがれコンサート山手中プラスバンド17:00~18:30) 校庭(雨天校舎内)
 - 〔プール〕7月21~22日 10:00~15:00

もうすぐ夏休み！

ふだんできないことに挑戦を

毎年、芦屋市立小・中学生の自由研究発表大会がおこなわれています。ルナ・ホールの舞台に立つ各校代表の子どもたちの表情には、自信が満ちあふれています。ふとしたきっかけから興味を持ちたり疑問に思ったことを自分なりの方法で調べ、結果を写真やビデオなどを使い、工夫を凝らして発表しています。その姿は、参加した人に感動を与えます。長い夏休みこそ、自ら学ぶ喜びを体験する絶好の機会です。

自由研究のすすめ

今、学校では、新しい学力観に立った教育が始まっています。今までの知識偏重になりがちな学習から、子どもの興味・関心を大切に、自ら学ぶ力の育成を目指しています。毎日の授業では、まず、子どもにも興味や関心を持たせ、思考力や判断力を養うとともに、その後の学習や生活に生きて働く知識や技能を育てることを大切にしています。

そのような学習の中でこそ、知る喜び・わかる喜び・できる喜び・表現する喜びを味わえるのです。自由研究は、このような学習を深める大切な機会でもあります。昨年ルナ・ホールで発表した山手

豆腐はなぜ浮きだすのだろうか？

昨年の自由研究発表大会の中で、宮川小のMさんは、みそ汁を作っている時に豆腐が浮きだすのを見て、疑問に思い、研究をしました。あらためて水の温度をはかり、実験してみると、八十六度で豆腐が浮いたので、次のような仮説をたて

①ふつとつた水に冷たい豆腐を入れる
②サイターの泡を利用して調べる
③豆腐の比重をはかる

このことをもとに、豆腐の比重や水の対流によるものと結論を出し、表や絵にまとめて発表しました。しかし、この結論が正しいかどうかを確かめるためにもっと確実な方法を探し、今後も調べて行きたいと結んでいます。学校ではこのような研究を奨励しています。

年々盛んになる自由研究・教育活動展

今年、九月中旬に「自由研究・教育活動展」を市民センターで開催し、子どもたちの力作を展示します。また、十二月には、ルナ・ホールで芦屋市立学校自由研究発表大会も行われます。このような場を通して、広く市民のかたがたに子どもたちの頑張りが



学校での活動の様子を見ていただきたいと思ひます。

夏休み前には、各学校で、課題図書をはじめいろいろな本を紹介し、読書することを勧められています。毎年、市立小・中学校の児童生徒のすぐれた作品を集め、読書感想文集を作っています。また、学校以外にも絵や工作、作文などの募集があります。一例を挙げますので、ぜひ挑戦させてみてください。

- ①ひょうご子どもの作文と詩コンクール
- ②芦屋国際児童画展
- ③日中友好両国少年児童作品展
- ④貯金箱コンクール
- ⑤働く人の姿展
- ⑥下水道に関する作文・ポスターなど

自然体験や社会体験へも参加

自分でいろいろと機会を見つけて、自然体験教室やボランティア活動に参加し、社会の一員としてこれからの国際社会で生きていく力をつけるのも大切なことだと思います。

悪口で 心のつながり 赤信号
宮川小学校6年 紺谷 一貴
(「差別をなくそう県民運動」応募作品)

●市民と考える「戦争」展・記念講演会「国際平和とボランティア活動」

講師/中田 武仁氏(国連ボランティア名誉大使)

7月21日(水)13:30開演(13:00開場)

入場無料 ルナ・ホール

*託児・手話通訳・要約筆記あり

主催●芦屋市・芦屋市教育委員会

問い合わせ●人権推進課(☎38-2055)・公民館(☎31-4995)



市民と考える「戦争」展

7月21日(水)~8月15日(日)
○市民センター常設展示場○

歌でつづる 名曲コンサート Part VII

■出演者

- 芦原 昌子(S)
- 安保 淑子(S)
- 荒田 祐子(A)
- 斉藤 言子(S)
- 伊藤 正(B)
- 神田 裕史(T)
- 小村 亮三(B)
- 田原 祥一郎(T)
- 畑 儀文(T)
- 浅井 康子(P)

8月28日(土)
18時30分開演

料金 ¥2500円(前)
¥2800円(当)
(全自由席)

■曲目

- 宵待草……多 忠亮
- 花の街……團 伊玖磨
- 中国地方の子守歌……山田耕筰
- もえる心を(「椿姫」より)……ヴェルディ
- ただあこがれを知るもののみが……チャイコフスキー
- ……他

ルナ・ホール

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。※前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。

▷問い合わせ◁
芦屋市文化振興財団
業平町8-24
(☎31-4962)